

出前講座 通信 No.2

ネット学習、学校・PTA、地域で活用

皆様方の理解と協力に感謝

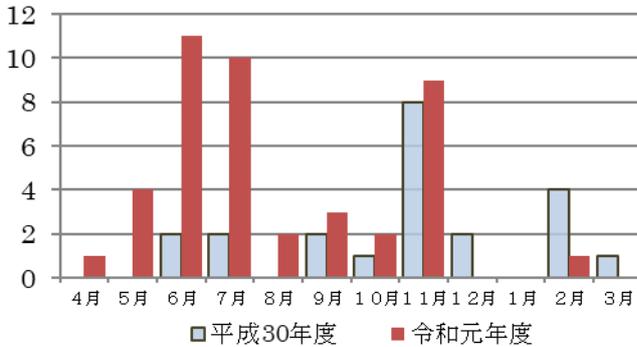
学校・PTA、地域への出前講座『ネットモラル編』の実施数が七月の時点で昨年を超える回数となりました。皆様方のご理解ご協力そしてご尽力に心より感謝です。引き続き、出前学習の機会をよろしくお願いいたします。

出前講座要請団体の割合も表にしてみました。貴重なお時間の中で、学校・PTA、そして地域のみなさんが次の一步を踏み出しているだけのように、内容や回数に応じた出前講座を準備しておりますので、どうぞ遠慮無く育成センターにご相談下さい。



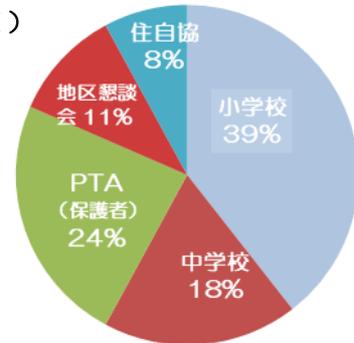
授業参観日に親子で一緒に考えトラブル回避を学ぶ保護者の皆さん

(図Ⅱ)



出前講座月別回数(今年度は予定も含む)

(図Ⅰ)



出前講座要請団体別割合

最近では中高生に加え、SNSを中心にトラブルに巻き込まれる事案が小学生にも発生しています。悪意を持った人は善意を装った巧妙な方法で若者に近づいてきます。スクールサポーターさん等の協力も得ながら、地域や学校で啓発活動に出向きますので、ぜひ呼び下さい。

ネットリテラシー学習を

ネット・SNSが犯罪の代名詞の様に言われてしまうとすれば、それは本来の願いとは逆のことです。

ネットは、ルールや危険を知り、適切な使い方を学んで、適切に使えば、危険や犯罪を回避できます。依存などの病気にもならない筈です。



今、若者を犯罪被害者や加害者にさせない対策が求められています。『ネットリテラシー学習』は大人にも有効なのです。地域でも年代を超えた情報共有の機会を企画しましょう。

◆ 犯罪につながる落とし穴(スマホ被害から)

- ① 自撮り写真の投稿から
(拡散やつきまとい、脅迫などに)
 - ② 興味本意の検索・クリックから
(ワンクリック詐欺の脅しに)
 - ③ 感情的な書きこみや冗談のつもりから
(いじめ、仲間外し、人権侵害の中傷に)
 - ④ ネット上のやり取りが深まって
(性犯罪や、なりすまし被害に)
- ◆ 若者を、**落とし穴に落とさない**ために
フィルタリングなど、危険回避の対策を学んでいきましょう。

ゲーム依存 特集 ①

あなたは、大丈夫ですか？

ネットは便利さばかりではありません。被害者や加害者となる例に加えてネットへの依存性が、深刻で身近な問題となってきました。今年の5月、世界保健機関（WHO）は、ゲームへの依存を『ゲーム依存症』として正式に疾患（病気）に指定しました。

『ゲーム依存症』への対策は、ようやく研究が始まったばかりですが、日本で行われた調査から、93万人の若者が依存傾向にあり、成人においては42.1万人が依存傾向と発表されています。

『ゲーム依存症』は青少年だけの問題ではありません。親子、地域一緒になって『依存症』について、学び考えていきましょう。



依存症は脳に起こる病気、未完成の子ども
の脳ほど影響が早いと言われています。

ゲーム依存の症状のこと

脅かすわけではありませんが、依存は脳の病気です。本人の意志とは関係なく進行していき、周囲の方の指摘に、強く否定する・怒る・乱暴な言葉で返すなどの傾向が現れます。早い対応が早い回復（改善）に繋がります。情報の共有・提供・相談を心掛けて医療に繋がしましょう。

■ 覚えておいてほしい主な症状・特徴

- ・ 年齢に関係無く大人もなる。
- ・ 脳が、大人に比べ未発達な子どもほど、ゲームの刺激を、もろに受けてしまう。
- ・ 脳が、壊されていく。
- ・ 本人には脳機能の変化も生じるため、依存を自覚するのが難しい。
- ・ 治るまでには、時間がかかること。
- ・ 再発も起こる事があること。
- ・ 行動や人格まで変えてしまうこともある。
- ・ 身体への影響も出てくること。

ゲーム依存 スマホ依存対策のこと

■ 周囲（環境）の改善を図りましょう

- ・ 話し合ってルールを決めましょう。
- ・ ゲームやアプリの性格を知りましょう。
- ・ フィルタリングを活用してみましょう。
- ・ 家族でオフラインの時間を持ちましょう。

スマホを使う あなた
オンラインゲームをする あなた
こんなことは、ないですか？

（チェックしてみませんか？）

- やり過ぎを注意されたことがある
- 取上げられたことがある
- 注意されカッとして反発したことがある
- 自分でもいけないなと思いつつも、やめられない時がある
- やりすぎて、翌日がきついつきがある
- チェックの付いた項目はありましたか？

◆ 依存症の本に「周囲の指摘にムキになって言い張るようなら、依存の世界のドアに手を掛けたサインかもしれない。」と書かれています。

◆ 出前講座（申込みにあたり）

- (1) 日時
 - 平日・休日を問いません
 - 時間は、ご相談に応じます
- (2) 対象
 - 親子参加行事、保護者会等
 - 参観日の授業や集会など
 - 人数や年齢制限はありません
- (3) その他
 - 機材は少年育成センターで用意、持参できます
 - 市内、どこへでも出かけます
 - 費用は、かかりません

※依存等の相談、出前講座の申込みは
少年育成センターへ【電話】228-8547

